



平成 25 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 岡藤ホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 松 井 政 彦
(J A S D A Q ・ コード 8 7 0 5)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 小 崎 隆 司
電 話 0 3 - 5 5 4 3 - 8 7 0 5

平成25年3月期第3四半期の連結業績見通しおよび特別損失の計上に関するお知らせ

平成 25 年 3 月 期 第 3 四 半 期 累 計 期 間 (平 成 2 4 年 4 月 1 日 ~ 平 成 2 4 年 1 2 月 3 1 日) の 連 結 業 績 に つ き ま し て は 現 在 集 計 中 で あ り ま す が 、 決 算 の 概 要 が ま と ま り ま し た の で 、 業 績 見 込 み を お 知 ら せ い た し ま す と と も に 、 前 年 同 期 実 績 と 比 較 し て 差 異 が 生 じ る 見 込 み と な り ま し た の で 、 下 記 の と お り お 知 ら せ い た し ま す 。

記

1. 平成 25 年 3 月 期 第 3 四 半 期 累 計 期 間 の 連 結 業 績 見 込 み お よ び 業 績 と の 差 異

(単位：百万円)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|--|-------|--------|--------|--------|
| 前年同期実績 (平成 24 年 3 月 期 第 3 四 半 期 累 計 期 間) (A) | 4,258 | △717 | △632 | △1,615 |
| 当期実績見込み (平成 25 年 3 月 期 第 3 四 半 期 累 計 期 間) (B) | 3,683 | 47 | 156 | 52 |
| 増 減 額 (B - A) | △575 | 764 | 788 | 1,667 |
| 増 減 率 (%) | △13.5 | — | — | — |
| (ご参考) 平成 24 年 3 月 期 実 績 | 5,073 | △1,231 | △1,234 | △2,579 |

2. 差異が生じた理由

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興関連を中心に公共投資の増加が続く一方で、海外経済の減速から欧州向け等の輸出が減少に転じ、企業の生産や設備投資も次第に弱含みとなりました。雇用情勢は厳しい状況が続いたものの、住宅部門など個人消費には底堅さが見られました。

商品市況は、金を中心とした貴金属や、原油、穀物ともに上昇を経て次第に横ばい推移となり、全国市場売高は 40,023 千枚 (前年同期比 78.1%) となりました。

このような状況のなか、当社グループの中核事業である商品取引関連事業における受取手数料は 3,168 百万円 (前年同期比 88.8%) となりました。また、売買損益につきましては、石油市場におけるディーリングが好調だったこともあり、195 百万円の利益 (前年同期比 102.7%) となりました。なお、商品取引関連事業のセグメント利益は、493 百万円 (前年同期は、196 百万円のセグメント損失) となる見込みであり、大幅に改善しております。

この結果、営業収益は 3,683 百万円 (前年同期比 86.5%) となる見込みであります。また、営業費用につきましては経費削減効果により 3,635 百万円 (前年同期比 73.1%) となる見込みであります。これらにより、営業利益は 47 百万円 (前年同期は 717 百万円の営業損失)、経常利益は 156 百万円 (前年同期は 632 百万円の経常損失) を、それぞれ計上する見込みであります。

これに加えて、固定資産の廃棄に伴う固定資産除却損 16 百万円、ならびに投資顧問関連事業の廃止に伴う事業再編損 68 百万円を特別損失として計上することなどから、四半期純利益は 52 百万円 (前年同期は 1,615 百万円の四半期純損失) を計上する見込みであります。

3. その他

平成 25 年 1 月 28 日付の「厚生年金基金解散に伴う特別損失の発生に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、第 4 四半期会計期間において 165,864 千円を特別損失として計上する見込みであります。当社グループは、この特別損失の発生に対応するため、第 4 四半期会計期間において、保有する投資有価証券の一部を売却し、投資有価証券売却益を計上する予定であります。

以 上